

システムの要件について

第20回名大ネットワーク指導医講習会はパソコンからの参加が必要です。以下の要件を確認し準備を整えて下さい。尚、以下の要件は今後変更される可能性があります。

インターネット回線について

- 有線 LAN を推奨する。無線 LAN(WiFi)を使用する場合も可能な限り安定した回線を使用すること
- Web 会議を行うため回線速度は 10Mbps 以上を推奨する
- 課題には Google Forms など Google のツールを多用するため Google にアクセス可能であることが確認できていること
- コミュニケーションツールとして、「Slack (スラック)」を使用します

ブラウザについて

- Google Chrome を推奨する

PC 推奨仕様について

1. 基本要件

- 有線 LAN もしくは無線 LAN (WiFi) への接続が可能であること。
- Web 会議に必要なマイク、スピーカー、カメラを内蔵している、もしくは外付けで接続されていること

2. 具体的な性能等

「推奨仕様」と「必須仕様」の2種類を「表1：PC仕様表」に示す。

表 1 : PC 仕様表

	推奨仕様	必須仕様
OS	Windows 10 または mac OS Big Sur (10.14)以上	
CPU	Intel Core i5 (第7世代) と同等以上 Mac の場合 M1 と同等以上でも良い	Intel Core i3 (第7世代) と同等以上
メモリ容量	8 GB 以上	4GB 以上
記憶装置容量	SSD 256GB 以上	HDD 256GB 以上
無線 LAN	IEEE 802.11a/b/g/n/ac のいずれかに対応	
ディスプレイ	12 インチ以上	
バッテリー 駆動時間	カタログ値で 8 時間以上	カタログ値で 5 時間以上
入出力装置	<ul style="list-style-type: none"> ● 物理キーボードを有すること (着脱型・分離型でも可) ● HDMI 映像出力端子を有すること (アダプタを介しての出力も可) ● オンライン会議等で利用可能なカメラを有すること (USB 接続の外部カメラを別途準備するのでも良い) ● スピーカおよびマイクを有すること (両機能を有するヘッドセットを別途準備するのでも良い) 	
セキュリティ ソフト	市販のセキュリティソフトをインストールし、定義ファイルを最新に保つこと。Windows の場合、OS 付属の Windows Defender でも可。	

参考：仕様表で使われている用語について

- CPU はコンピューターの心臓にあたる装置で、カタログ等ではプロセッサとも表記されます。PC の世界ではインテル社の製品が広く使われており、同社製品を基準として CPU の性能を記載することが一般的です。同社 CPU の製品名には下記の規則性がありますので、性能を比較する際の参考にしてください。

Core i5-8365U

① ② ③ ④

- ① ブランド名：Core ブランド以外に Celeron 等のブランドもありますが、各種性能が劣りますので、学習・研究用途での利用は推奨しません。
- ② シリーズ名：Core ブランドには i3, i5, i7, m3 等のシリーズがあり、数字が大きくなるにつれて高性能となります。m から始まるシリーズは省電力性を重視しており、計算性能は i シリーズより劣ります。
- ③ 型番：インテル社の CPU は製造技術の違いにより「世代」分けされています。型番の最初の 1 桁または 2 桁が世代番号を表し、世代番号が大きいほうが高性能です。最初の 1 桁が 7, 8, 9 であれば第 7, 8, 9 世代、最初の 2 桁が 10, 11 であれば第 10, 11 世代となります。
- ④ 特性記号：U がついている CPU は省電力性に優れ、Y がついている CPU は、U より更に省電力対応が進められています（その分だけ、計算能力が犠牲となっています）。

- メモリ容量は作業機の広さ、記憶装置（ストレージとも呼ばれます）容量は本棚の大きさに例えられます。作業機が広い（メモリ容量が大きい）と一度に多くのデータを机上に広げて作業を行うことができますが、作業機が狭い（メモリ容量が小さい）と、データをこまめに整理し、作業機と本棚の間でデータの出し入れを繰り返さないといけないため、処理に時間がかかることとなります。
- SSD は HDD（ハードディスク装置）よりも高価ですが、動作速度や省電力性に優れています。また、HDD は物理的な衝撃に弱いため、持ち運んで利用することが前提となるノート型 PC では SSD に大きな優位性があります。